

令和6年9月13日

3年生保護者のみなさま

刈谷市立富士松中学校
校長 相羽 孝彦

令和6年度全国学力・学習状況調査の調査結果について

秋晴の候、保護者のみなさまには、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃は、本校の教育活動にご理解とご支援をいただきありがとうございます。

さて、4月18日（木）に実施しました「全国学力・学習状況調査」の調査結果が文部科学省から届きました。

つきましては、下記のとおり調査結果の取り扱いに関する方針と本校の結果の概要をお知らせします。なお、お子様の結果につきましては個人票を配付しましたので、あわせてご覧ください。

記

1 調査結果の取り扱いに関する方針

文部科学省及び愛知県教育委員会は、結果の公表について「本調査により測定できるのは学力の特定の一部分であること、学校における教育活動の一側面であることなどを踏まえるとともに、序列化や過度の競争につながらないように十分配慮する」という方針をとっています。本校もその方針を受けて、教科の学習状況と学習・生活習慣等の状況について、概要を報告させていただきます。

2 本校（3年生）の結果の概要

国 語	<ul style="list-style-type: none">概ね満足できる状況であるが、伸ばしたい点がある。言葉の特徴や使い方に関する事項では、文の成分の順序や照応についてよく理解できている。「読むこと」の項目では、文章の全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係を捉える力や、目的に応じて必要な情報に着目して要約する力に優れている。国語の授業で、話し合いの際に資料などを示して、自分の考えを伝える取り組みを重ね、相手に分かりやすく伝える力を伸ばしたい。また、ペア対話などの取り組みを重ね、話し合いの話題や展開を捉えながら、他者の発言と結びつけて自分の考えをまとめる力を伸ばしたい。
数 学	<ul style="list-style-type: none">概ね満足できる状況であるが、伸ばしたい点がある。観点別では「知識・技能」が全国平均よりも高い。関数の領域では、式とグラフの特徴を関連付けて理解することや、グラフの傾きや交点の意味を事象に即して解釈する力に優れている。データの活用の領域では、与えられたデータから最頻値を求める力に優れている。数学の授業で、目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりする力を身に付け、筋道を立てて事柄が成り立つ理由を説明できる力や、筋道を立てて考え、証明することができる力を伸ばしたい。
生 徒 質問紙	<ul style="list-style-type: none">朝食をしっかりと食べている生徒が多く、起床時刻や就寝時刻についても規則正しい生活ができている。困っている人を進んで助けようという気持ちや、人の役に立つ人間になりたいという気持ちをもっている生徒が多い。いじめは絶対にいけないことだという意識を強くもっている。新聞を読んでいるという生徒が全国平均よりも多い。1日の中で、テレビゲーム（スマホ等のゲームを含む）やスマホ等での動画視聴に多くの時間を使う生徒がやや多い。学校の授業時間以外や土日など学校が休みの日に、全く勉強をしないという生徒が全国平均よりも多い。

*無回答率が全国平均より少なく、前向きに取り組もうとする姿勢がうかがえました。

3 その他

- 個人票の見方について質問がありましたら、担任までご相談ください。